



# 会員アンケート

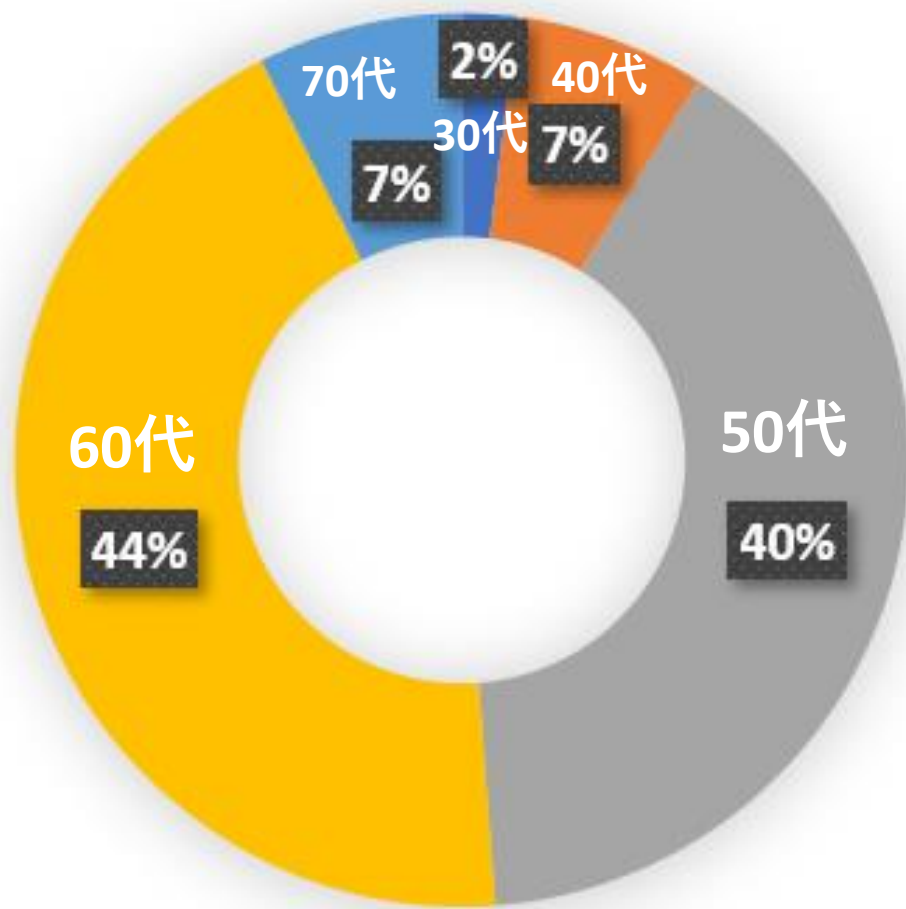
## 「中部経済同友会の未来に向けて」

実施期間：2024年7月4日～7月18日

# 回答者属性 1

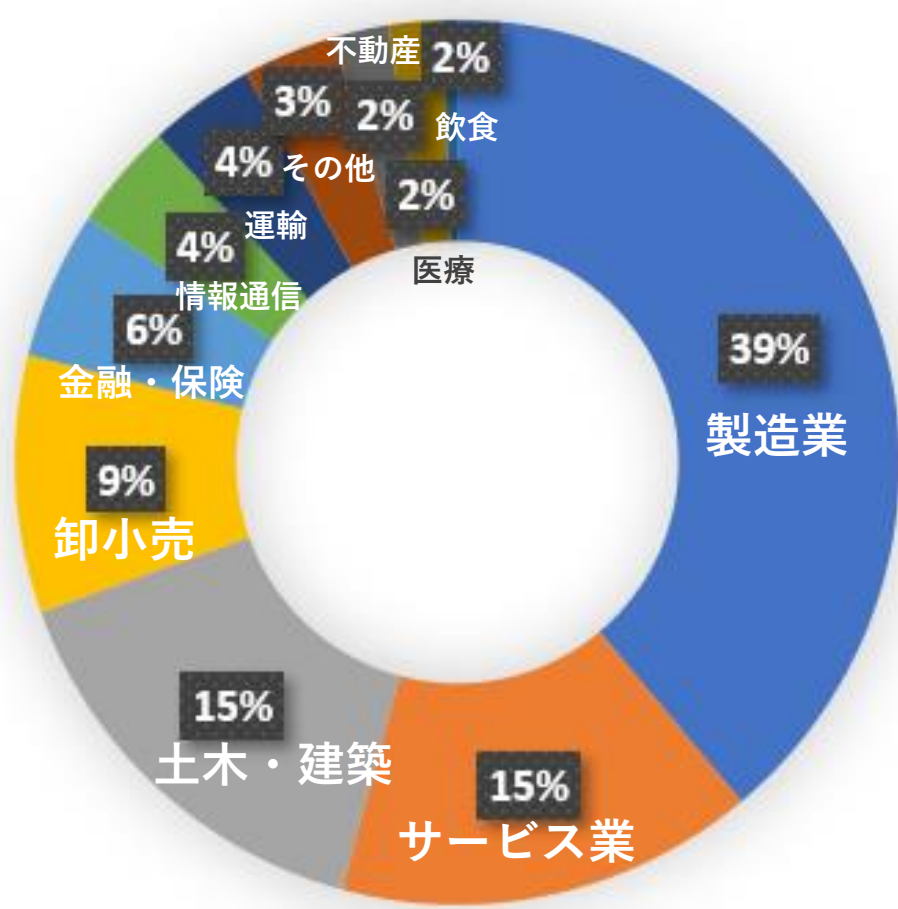
回答者数203名（回答率18.8%）

## <年代別>



50～60代で約85%

## <業種>

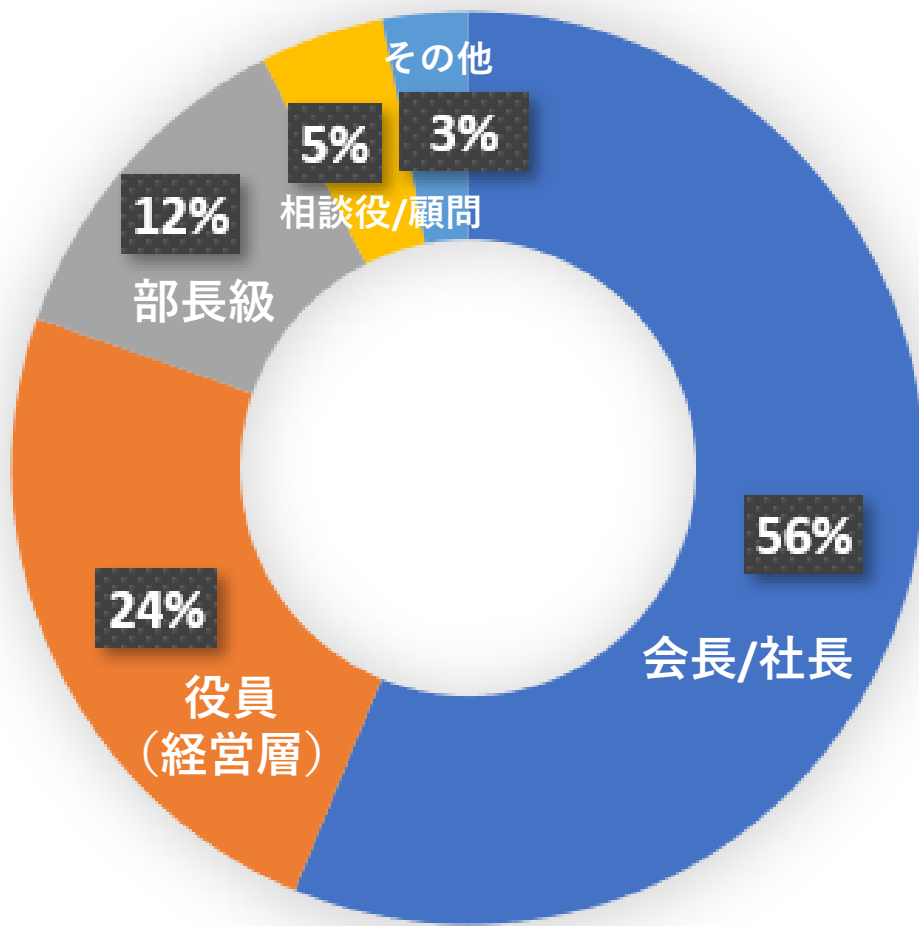


製造業が4割

## 回答者属性2

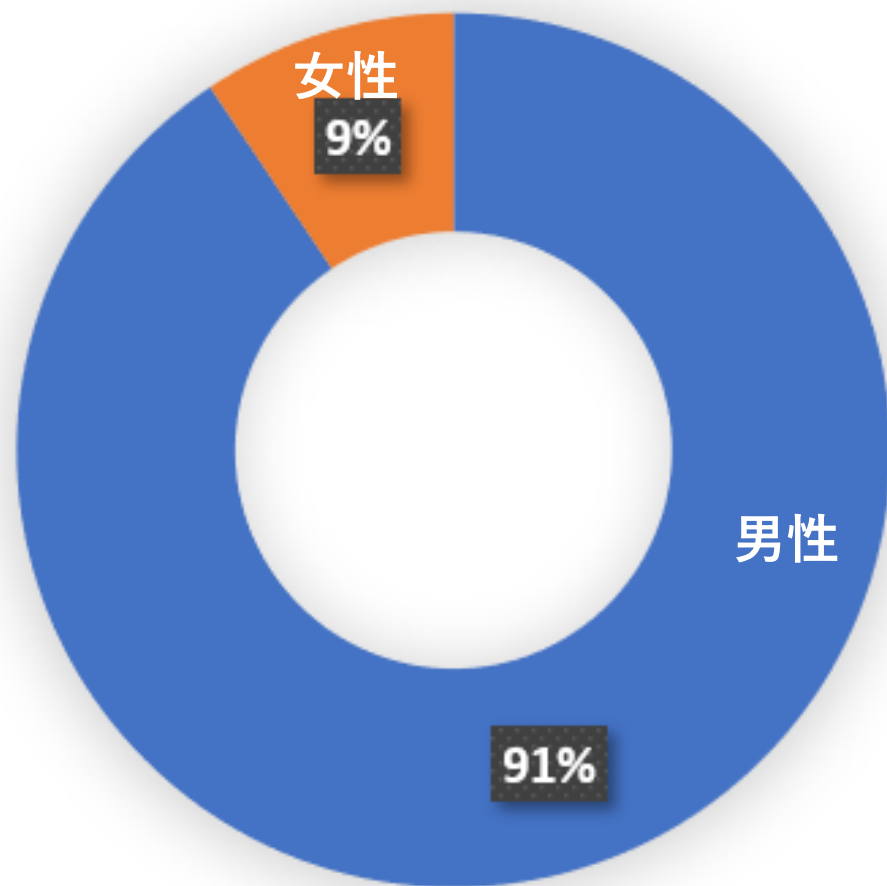
回答者数203名（回答率18.8%）

### <役職>



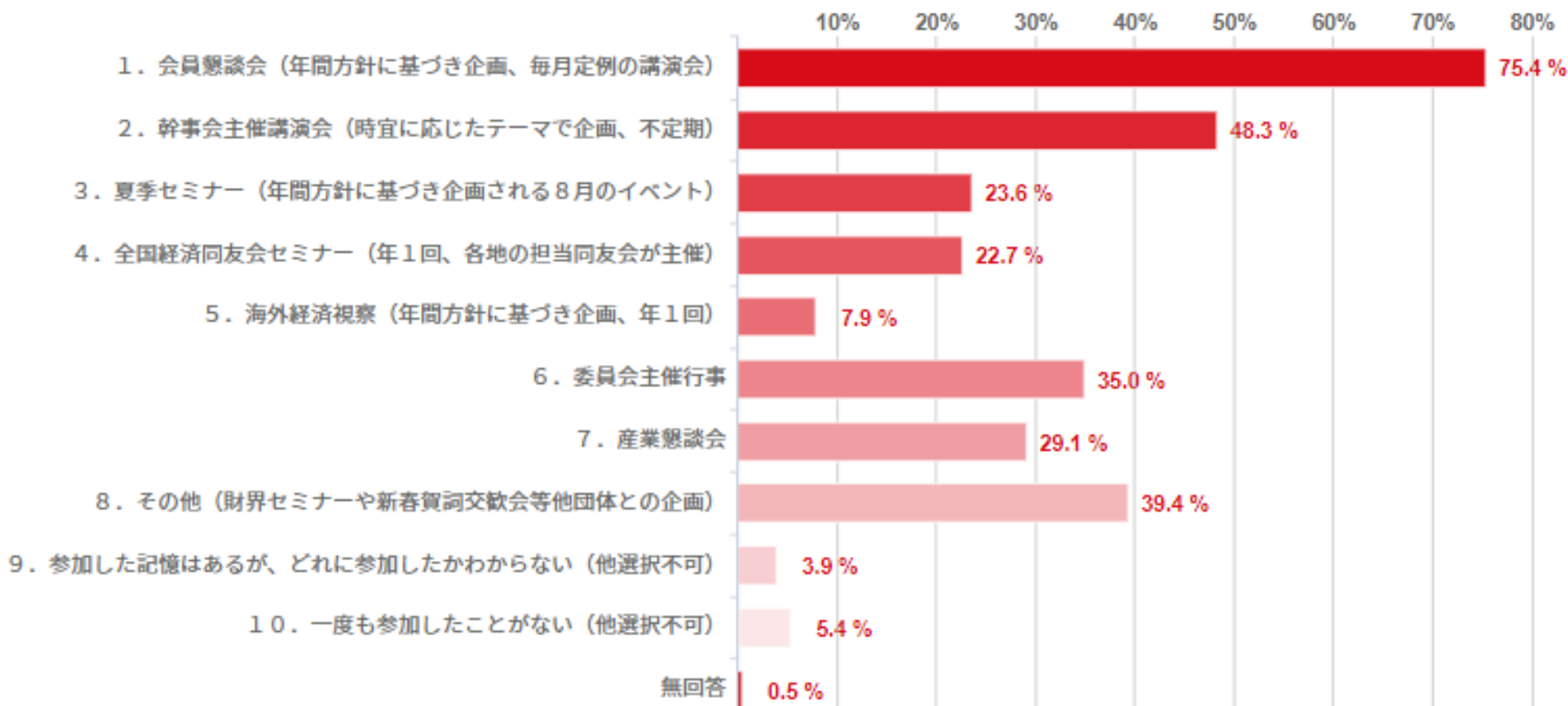
**経営層が8割**

### <性別>



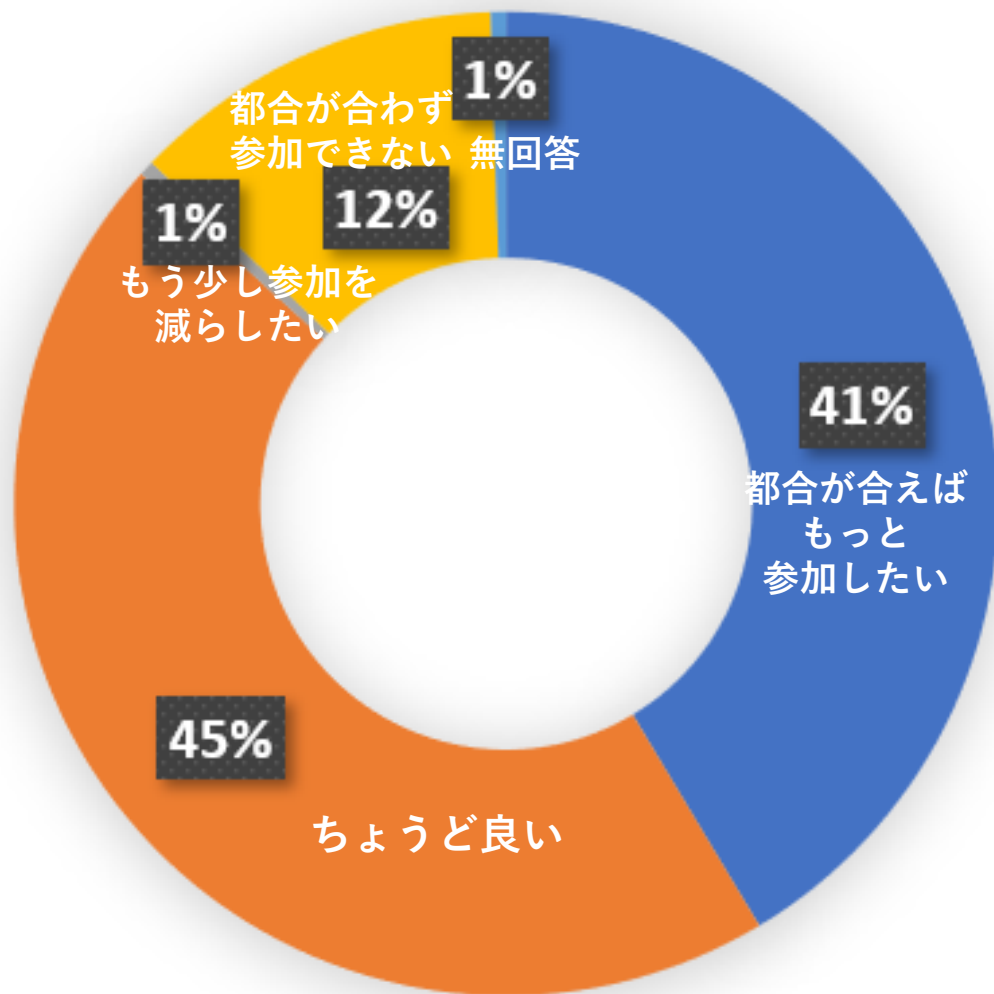
**男性が9割**

# Q1-1. 本会活動のうち、参加したことのあるものをすべてお選びください。



n=203

# Q1-2.現在のご自身の参加頻度について 当てはまるものをひとつお選びください。



都合が合わず参加できない 12%  
参加を減らしたい 1%

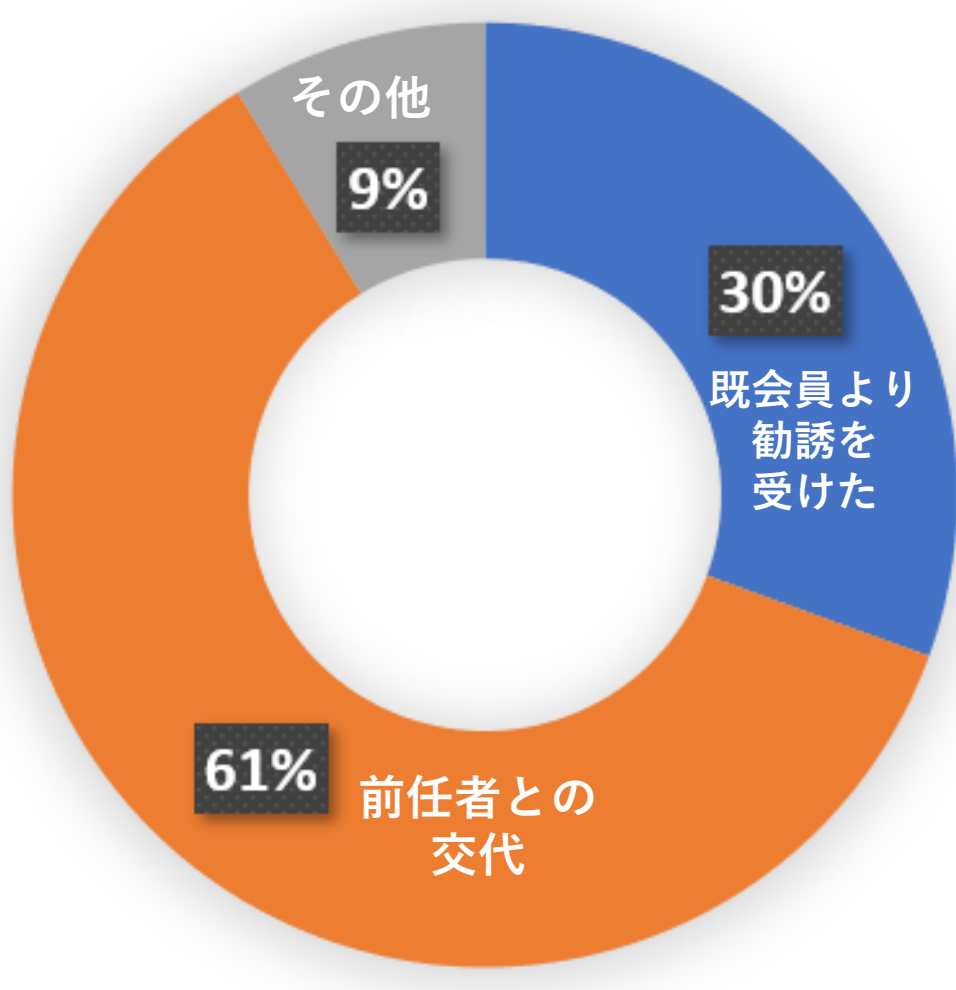


## 参加しにくい要因

- ✓ 社業多忙 85%
- ✓ 物理的に距離が遠い 19%
- ✓ 昼間の時間帯に参加しにくい 27%
- ✓ 活動に魅力を感じない 3%

n=203

## Q2-1.中部経済同友会に入会した経緯をお聞かせください。



### (参考)

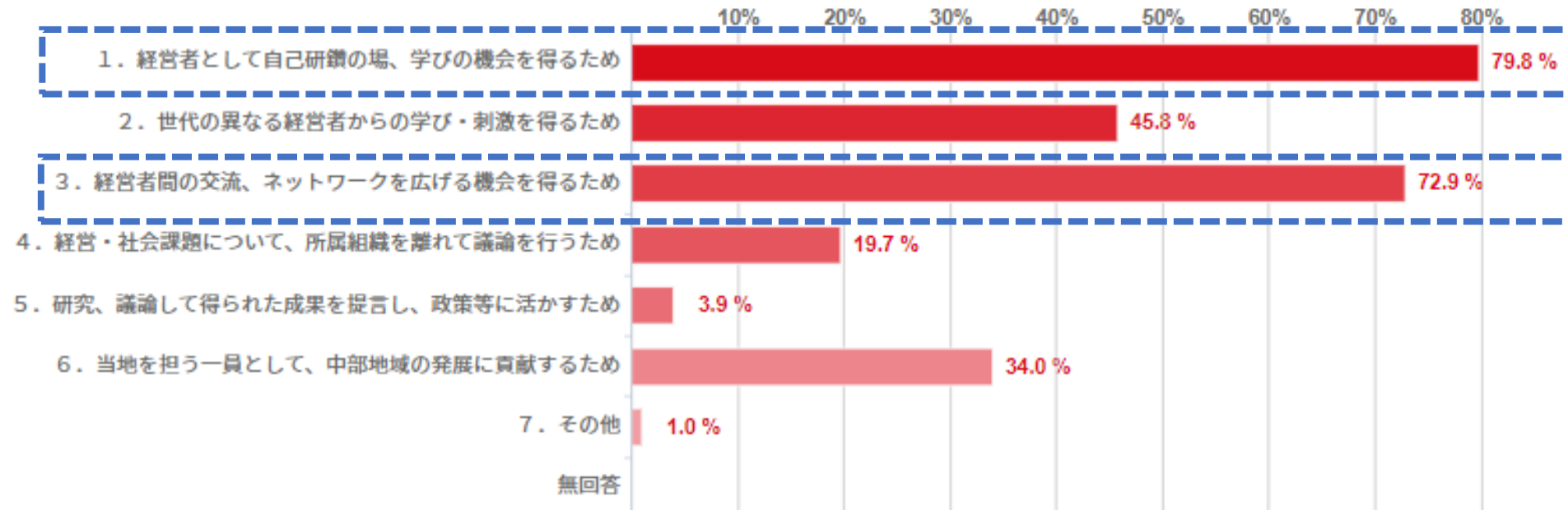
#### 本会会員の在籍年数

0～3年	50.2%
3～5年	12.8%
5～10年	18.2%
10～20年	15.8%
20年以上	3.0%

半数が3年以内に入れ替わる

n=203

## Q2-2. 中部経済同友会は3つの目的（研鑽・交流・発信）を掲げています。本会活動に参加するご自身の目的を教えてください。（複数選択）

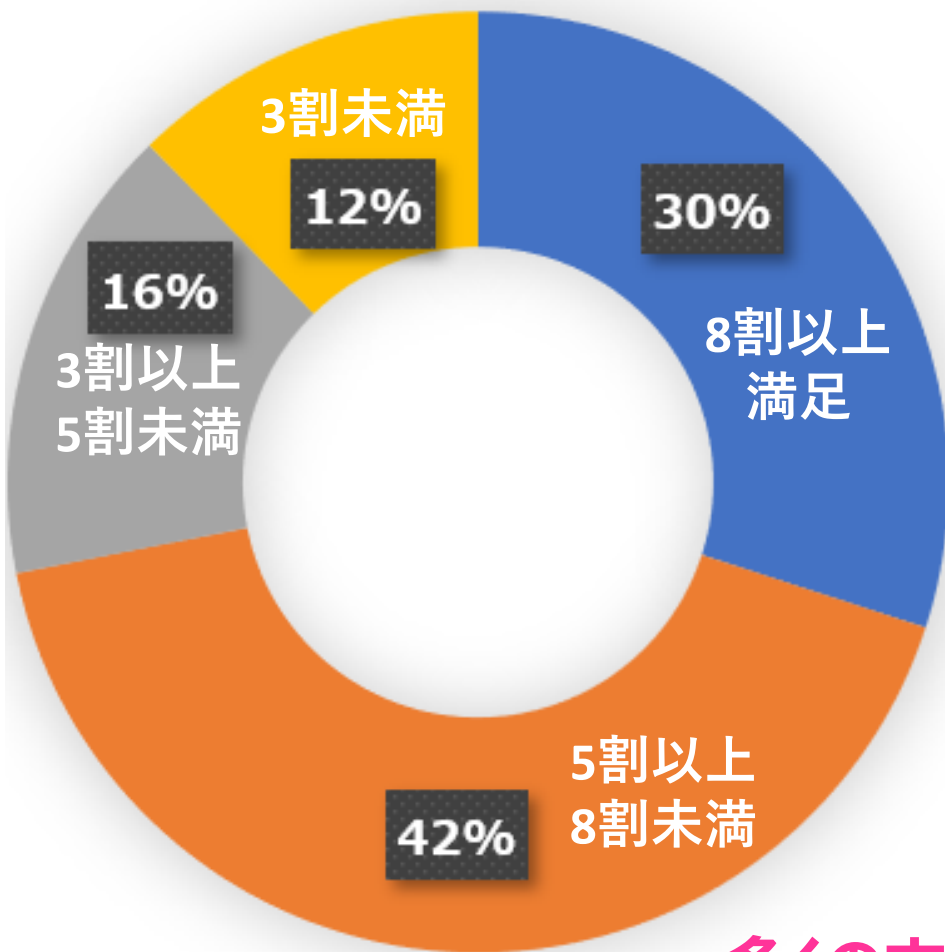


研鑽・交流を目的とする会員が大多数

n=203

## Q2-3.入会した成果はどの程度得られていると感じますか。

満足度5割以下の方 28%



### 理由

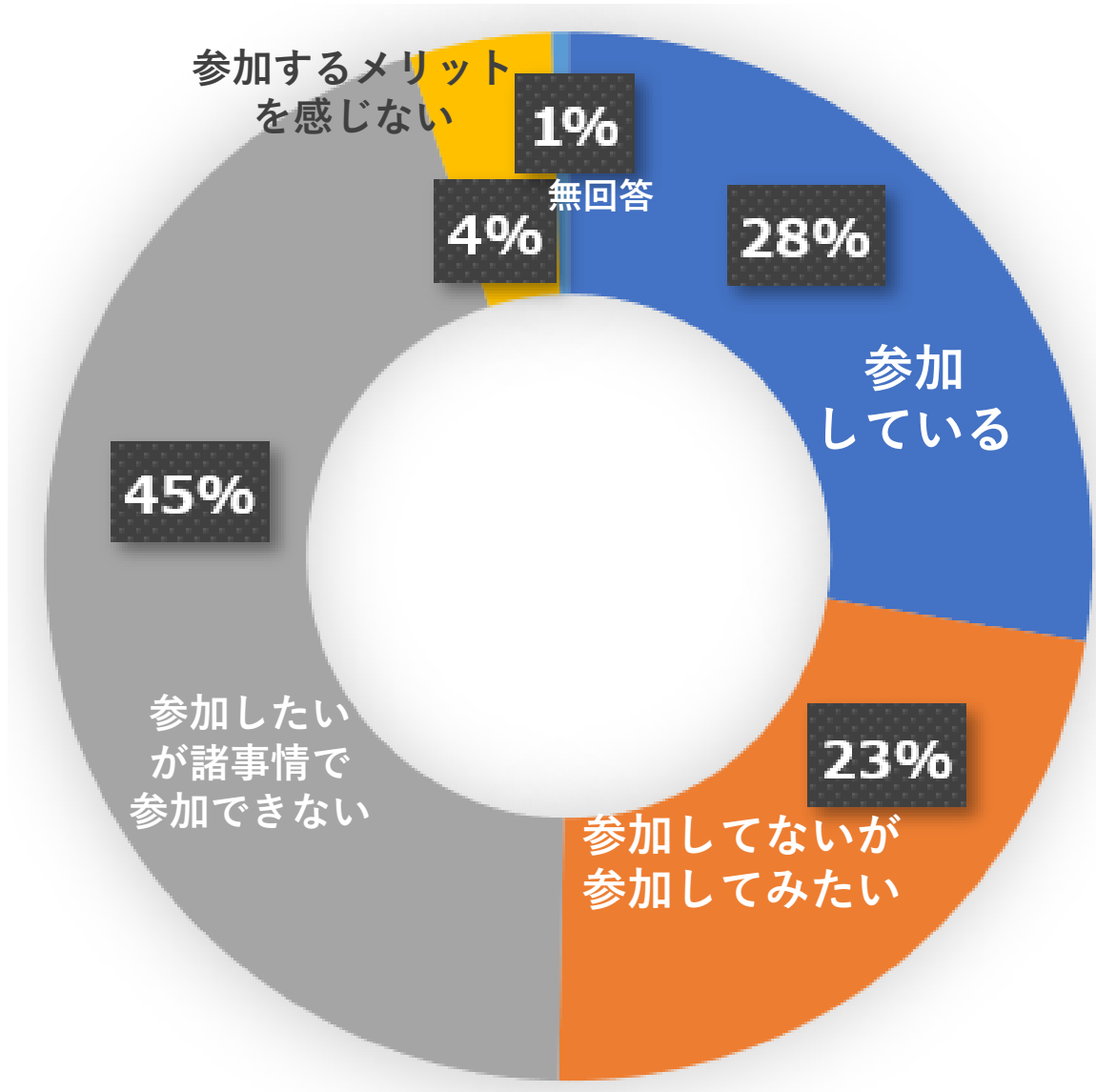
- ✓ 入会して日が浅い。
- ✓ あまり参加できていない。
- ✓ 自由席の場合、仲の良い人同士が固まっており、入りにくい
- ✓ セミナーや講演会など、自社の政策に役立つコンテンツが増えると利用しやすい。
- ✓ 委員会への参加のハードルが高い。

多くの方が活動に参加できていないという理由

n=203



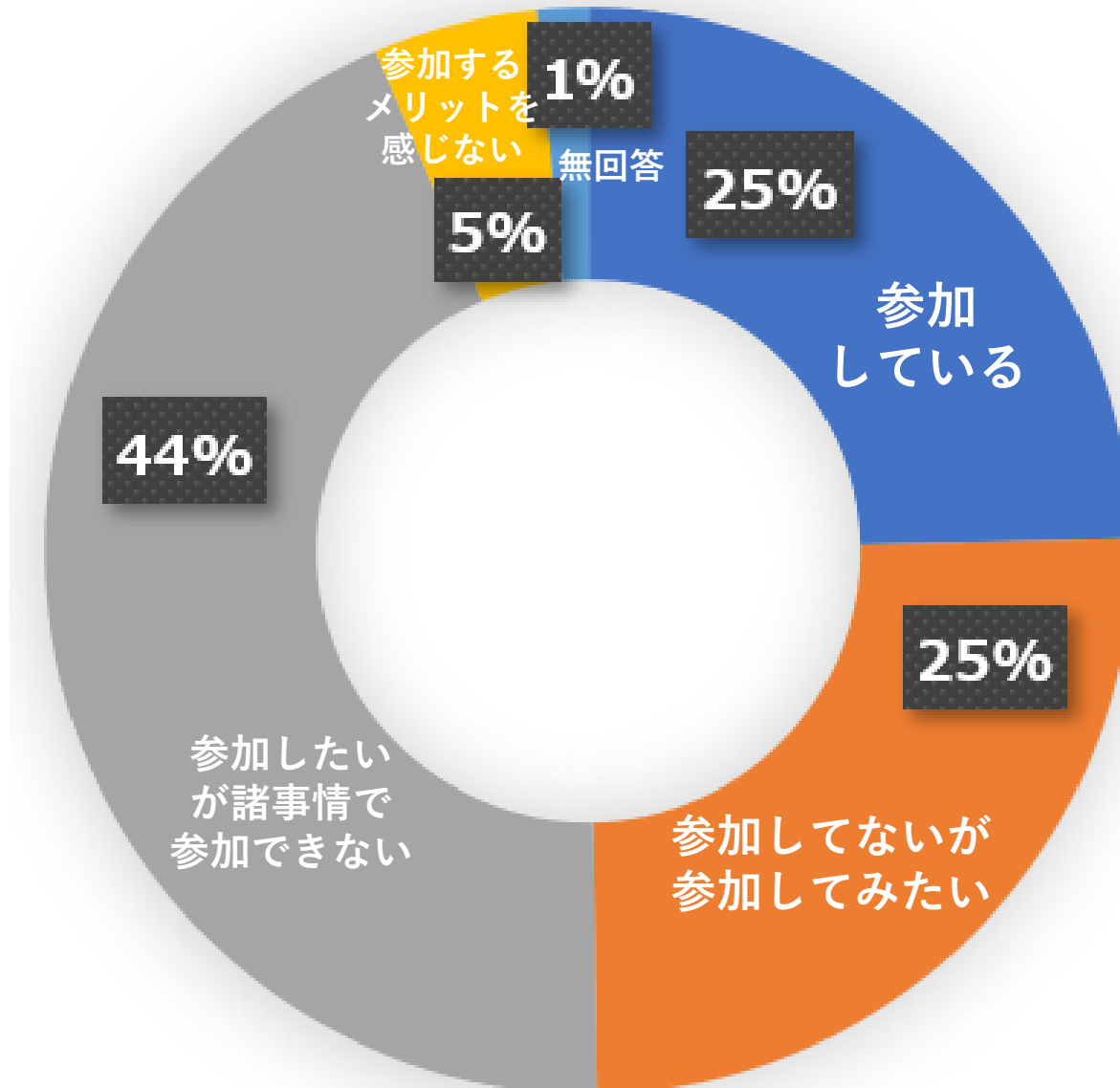
### Q3-1. 委員会活動についての参画状況をお聞かせください。



n=203

**参加したことはないが参加してみたい方（23%）へのアプローチが課題**

### Q3-2. 産業懇談会についての参画状況をお聞かせください。

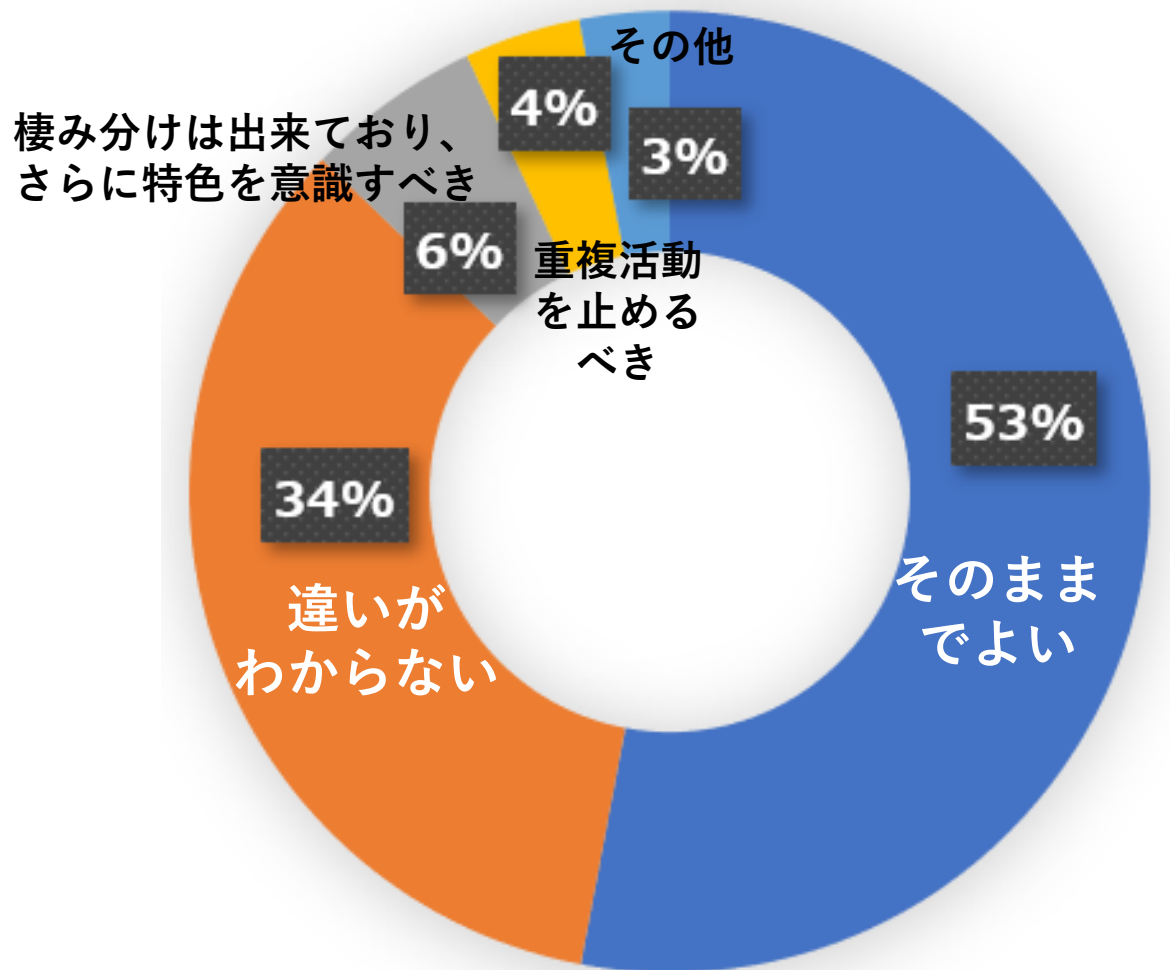


n=203

**参加したことはないが参加してみたい方（25%）へのアプローチが課題**

Q4-1. 当地にある4つの経済団体（中部経済連合会、名古屋商工会議所、愛知県経営者協会、本会）の違いをどのように感じますか。

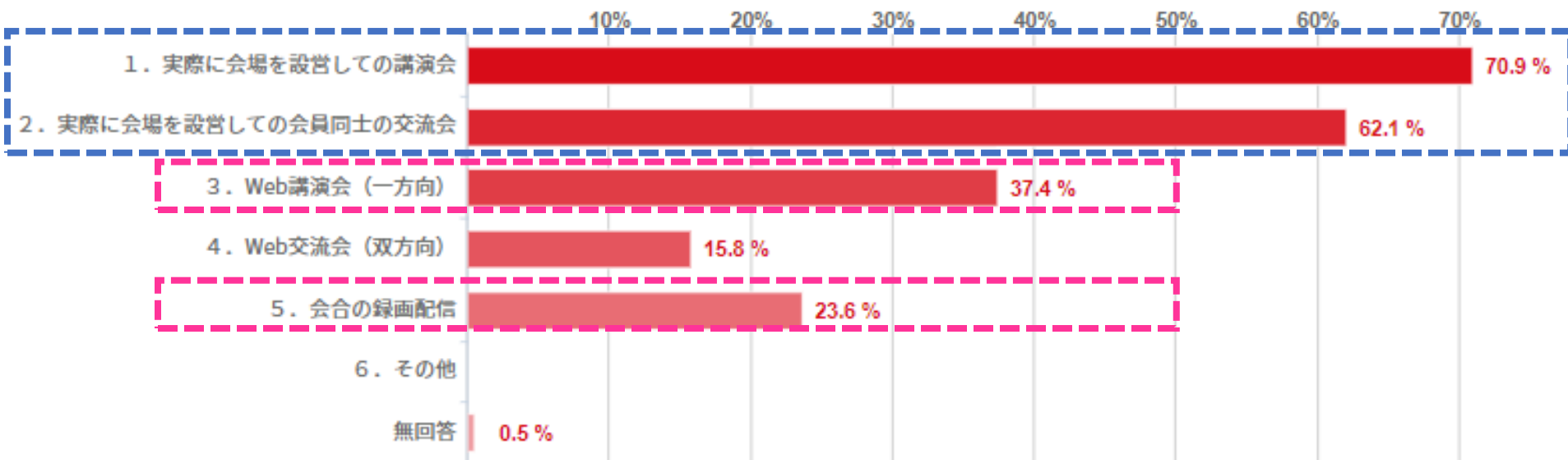
「そのままよい」と「棲み分けは出来ており、さらに特色を意識すべき」が半数以上である一方、「違いがわからない」は34%



n=203

# Q5-1. 中部経済同友会の今後の会合形式について希望をお聞かせください。（複数選択）

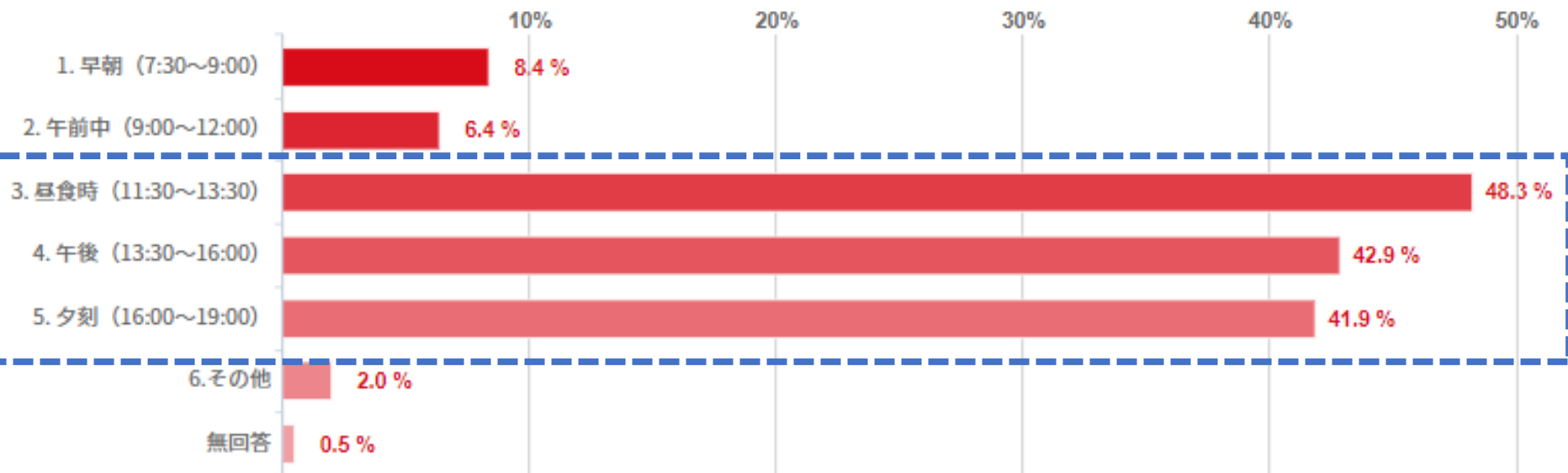
会場での講演会や交流会を希望する声が多い一方、Web講演会や録画配信の希望も一定数あり。



n=203

## Q5-2. 会合開催時間への希望をお聞かせください。(複数選択)

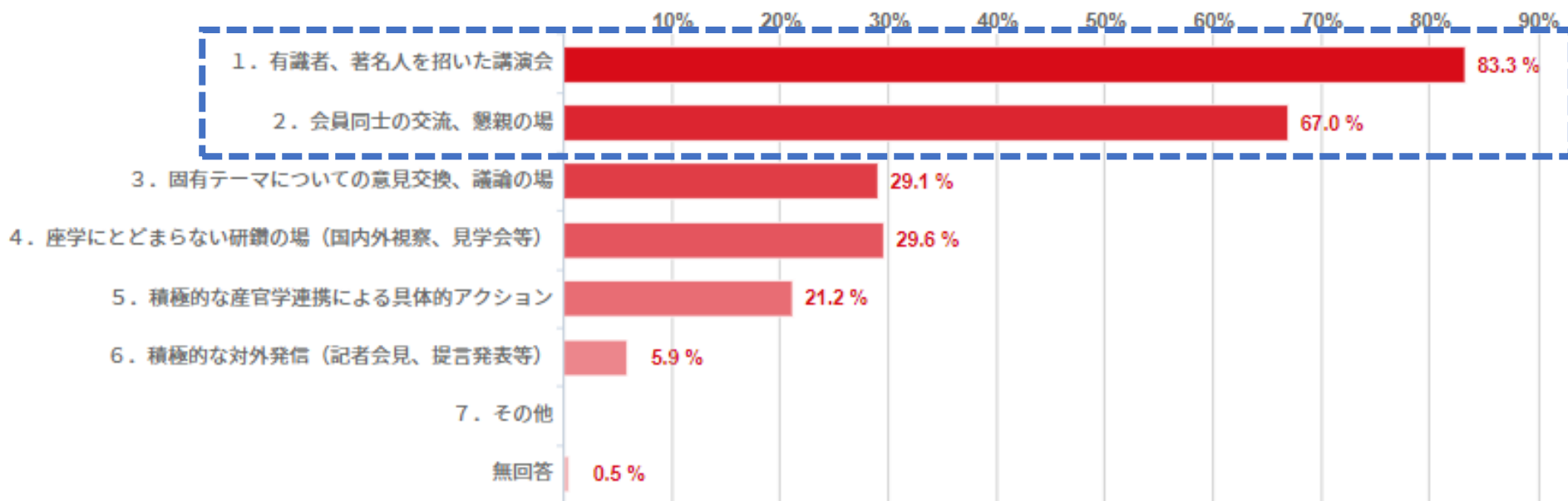
昼食時や午後と並んで夕刻開催希望もあり。



n=203

## Q5-3.中部経済同友会の活動に対しての期待を以下からお選びください。（複数選択）

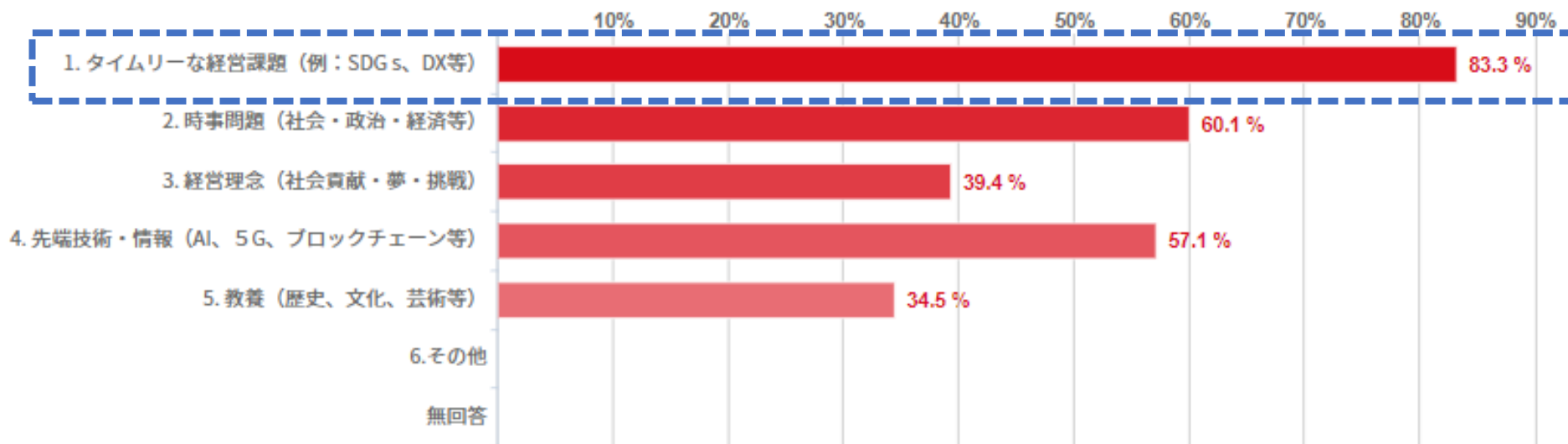
### 講演会や懇親の場を期待する会員が多い



n=203

## Q5-4. 中部経済同友会が取り扱うテーマとしてご関心の高いものをお選びください。(複数選択)

タイムリーなテーマを期待する声が多いが、幅広く関心がある。



n=203

# Q5-5. 特に印象に残っている会合について

<p><b>会員懇談会・幹事会主催講演会 など、定例の大規模講演会</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府関係者、あるいは現役国会議員等による、 国家レベルの政治・経済関連の生々しい状況の講演（イスラエル大使）</li> <li>・どの会も、第一線で活躍されていらっしゃる方を招き、興味深い内容</li> <li>・ウェルビーイング経営やAIなど参考になる （バレーボール川合氏、社会政策課題研究所 江崎氏、ACES田村氏など）</li> <li>・マツダ前田氏の講演会及び懇親会</li> </ul>
<p><b>全国経済同友会セミナーなど 他地区経済同友会との交流</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国セミナー（福井大会）</li> <li>・二次会での密な交流</li> </ul>
<p><b>国内外視察など現地現物の 見学会</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外視察で出来たネットワークは今の活動にプラスとなっている。</li> <li>・現地で実際に見学した内容は深く印象に残っている。</li> </ul>
<p><b>委員会主催行事</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育を考える委員会（出前授業、工藤勇一氏講演）</li> <li>・中部の魅力・歴史を感じる「文化の街づくり委員会/ステキ・小粋・まち歩きの会」</li> <li>・SDGs経営委員会「ビオぐるファクトリーHANDA」視察会</li> <li>・分散型社会を考える委員会（野田聖子氏講演）</li> <li>・生活・文化委員会（批評家・随筆家 若松 英輔 氏講演）</li> <li>・DE&amp;I委員会（大和証券の人事制度）</li> </ul>
<p><b>産業懇談会</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表幹事講話は勉強になる</li> <li>・例会での講演（コーヒーの淹れ方、廃プラスチックの回収・再生）</li> </ul>
<p><b>財界セミナーや新春経済講演会 等、他団体との企画</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京大学薬学部 池谷氏</li> </ul>
<p><b>その他</b></p>	<p>—</p>



## Q5-6. 10年後の社会はどうなっているのか、 また経営者はどうあるべきか、お考えをお聞かせください。

### 想定される社会（キーワード抜粋）

- **AIの急速な進展**（人とのすみわけ、新たな価値観）
- **人口減少・高齢化**（中小企業の淘汰、海外人材の取り込み、自動化、個を活かす）
- **環境問題**（対応できなければ淘汰）
- **格差社会**（各個人の自立）

### 経営者はどうあるべきか（キーワード抜粋）

- **ウェルビーイング経営**（人材を中心にした経営、従業員の働き甲斐・幸せ）
- **確固たる普遍的価値観（軸）と時代の変化に対応する柔軟さ**
- **会社Visionの設定**（現在の延長線上ではなく先を読む）
- **世代交代**と大幅な権限委譲
- **社会課題の解決**と自社の強みを生かした**新規事業創出**
- **サステナブルでレジリエントな社会**に向けた国やセクターを超えた連携

## Q5-7.年会費・参加費のお支払方法（現金・振込み） について、ご意見をお聞かせください。

### 任意記載であったが、キャッシュレスを求める声が11名有

- 請求の煩雑さは課題。銀行振込みやクレジットカード決済など電子的に履歴が残ると良い。
- 現金支払いは双方にデメリットが多いのでは。
- 事務局の負担が軽減される方法で良い。
- 現状維持で問題なし
- 団体の基本的な費用をカバーする年会費は必要であり、参加するイベントごとに参加費用を負担するのが原則と感じる。
- 2, 3割値上げしても良いのでは。

## Q5-7.全体を通してご意見をお願いします。(1/2)

### <ポジティブなご意見>

- 中部経済同友会に参加して約1年が経過しますが、経営者皆さんの個性に立脚した非常に活発な活動を拝見し感銘を受けた。
- 同友会は会員が個人の資格で参加しており、社会課題により踏み込んだ講演の開催と議論ができるので、この特徴を更に深化させてほしい。
- いろいろな分野における講演会に参加することで、自己の知識や行動力のスキルアップにつなげたい。
- 多岐にわたる活動を少人数でこなしている、事務局の皆様に感謝。

## Q5-7.全体を通してご意見をお願いします。(2/2)

### <今後検討が必要なご意見>

- 様々なご意見はあるかと思うが、ペーパーレスなど環境負荷を下げる活動を更に推進されると良い。
- 経営者は社内では相談しにくいことも多いのでお互いに話し合える場があると良い。
- 若い会員が遠慮なく発信できる会であってほしい。
- 中部経済同友会としての発信力の強化が必要。存在意義を会員各自が認識する事が大事。
- 自由席だとなついつい知った顔との同席ばかりしたくなるので、指定席の機会があるとよいと思います。
- 東京では産官学のグローバルな人材を集めた議論の場や講演の場が多く、名古屋もそのような場を積極的作っていくべき。

# ご協力ありがとうございました！！

多数の貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。  
アンケート結果は、今後の本会活動に反映させていただきたいと存じます。  
引き続きよろしくお願い申し上げます。

